

令和4年度 小金井市役所 インターンシップ

プログラム概要	：	小金井市役所業務のインターンシップ（公民館・児童館）
実習先	：	公民館緑分館 さくらなみ学童保育所
実習先情報	：	地域の方に向けてのイベントや市民講座の企画運営、学童保育など
参加人数	：	1名
学部学科	：	法学部法律学科
実習期間	：	令和4年8月8日～9月2日（19日間）
本学担当教員	：	本谷勇治

○はじめに

さくらなみ学童保育所は、小金井市第一小学校の中にあり、児童数が150人近くなります。さんさん、さくさく、なみなみの3つのクラスがあります。小学一年生の児童数が一番多く、小学4年生の児童数が一番少ないです。小金井市緑分館は、桜町病院のバス停から歩いて4分くらいのところにあります。とても緑が多く、夏にはカブトムシ取りが出来ます。

○実習内容

さくらなみ学童保育所

- ・子供と遊ぶ
- ・机の消毒
- ・読み聞かせ
- ・掃除機をかける
- ・工作の準備

公民館緑分館

- ・講座を考える
- ・館内の消毒
- ・許可証の発行
- ・印刷の手伝い

公民館緑分館以外

- ・施設内点検
- ・社会教育委員の定例会
- ・パンフレット修正



○提案したこと、発信したこと等

女子高生や女子大学生が来るような講座を考え提案しました。私は6個講座を考え企画書を作りました。今の女子高生や女子大学生のはやりを調べたり、実際高校生の時に悩んだこと、今現在悩んでいることを講座にしました。

○経験したこと、学んだこと

さくらなみ学童保育所では、どのように話しかければ子供たちが一緒に遊んでくれるのかを学びました。実習に行ってももならないころは、子供たちに自分から話しかけることができませんでした。しかし、さくらなみ学童保育所の園長にどのように話しかければ子供たちが私と一緒に遊んでくれるかを教えてくれました。それから少しずつ子供たちに「一緒に遊ぼう」と声をかけることができるようになりました。学童保育所の大変さを学び経験しました。

また、障害がある子と職員の関わり方を学び経験しました。子供達には色々な遊びを教えてもらいました。何もルールがわからない私に丁寧に教えてくれました。子供たちなりに頑張ってくれました。

公民館緑分館は、館内の消毒の仕方や許可証の発行の仕方や印刷の仕方を今年武蔵野大学を卒業した新卒の女性方が一つ一つ丁寧に教えてくれました。公民館の仕事内容を経験しました。何かわからなそうな顔を私がしていたら近くまで来て様子をうかがったりしてくれました。社会教育委員会の定例会ではえらい方たちが集まっている会議に公民館の館長と一緒に went 行きました。実際どのようなことを定例会で話されているのかを学びました。

○今後の展開、今後の学び

この貴重な体験を生かして公民館で学んだことや学童で学んだことを大学生生活に活かしたいと思います。そして勉学に励み地方公務員になれるように頑張ります。

○まとめ

公民館が市役所と連携していることをFSが始まるまで知りませんでした。このFSを通して公民館の仕事内容や公民館の職員と市民の関わり方がわかりました。

小金井市の学童の実態がわかり勉強になりました。学童は体力勝負だということがわかりました。

○実習先コメント

- ・学童に来たくて来てる子供はいない。親の仕事の関係で入っている。
- ・学童に実習に来た当初より挨拶や返事ができるようになっている。
- ・子供たちと楽しそうに遊んでいる姿が見られた。

○担当教員コメント

・地域社会に住むすべての人々が豊かに幸せに生活するために、公民館が極めて重要な役割を果たしていることがわかった貴重な体験でした。老若男女、年齢層、障害のあるなしにかかわらず、その地域に住むすべての人々が対象であるからこそ、様々な苦労がありました。しかし、相手の立場や気持ちを十分理解し、思いやりの心をもって、自分の持ち味や良さを生かして、その活動を企画・計画、準備、実施、振り返りを行うことによって、「その地域に住む人々に幸せを届けること」の役割を果たすことができました。フィールドスタディズの目指すところに迫る学びができたことが大きな成果です。

令和4年度 小金井市役所 インターンシップ

プログラム概要	：	小金井市役所 情報システム課にて実習体験しました。
実習先	：	小金井市役所 第二庁舎 6階 情報システム課
実習先情報	：	主にパソコン関係の貸出やデータの処理などを行なっています。
参加人数	：	1名
学科	：	データサイエンス学科（データサイエンス学科優先プログラム）
実習期間	：	令和4年8月8日～9月2日（19日間）
本学担当教員	：	本谷勇治

○はじめに

・情報システム課の主な職務内容は職員や市民の情報を管理したり、他の課の職員の方から寄せられた要件を解決したりすることです。他には都や国の取り決めに従って情報基盤を整えることもあります。今回、情報システム課とはこういったところなのかを学びました。

○実習内容

- ・情報セキュリティについての学習
- ・データ移行作業
- ・新システムの操作確認
- ・会議の同席
- ・マニュアル作成
- ・エクセル作成

○提案したこと、発信したこと、等

・Web会議を行う際の手順とPCの操作のマニュアルを作成しました。データサイエンスの授業でスライド作成には慣れていたため、その経験が活かされたと思います。またレイアウトはネットにあるものを参考にしたので、反対にデータサイエンスの授業に役立てていきたいです。

○経験したこと、学んだこと

・今回のインターンシップでは最初に情報セキュリティについて説明を受け、実際にどのように情報を守るのかを体験するので、とても情報セキュリティに対する意識が変わりました。特に学びになったことは守るべき情報を三つに分離し、職員や端末によって情報へのアクセスを制限することです。また、分離した情報を移動するとき、安全のために手続きや動作に時間がかかってしまうので、情報を多く抱える公務機関や企業では動きが遅くなってしまいうると思いました。

・会議ではWBS(Work Breakdown Structure)と課題管理表を読み合わせるのですが、とても詳細に作られており仕事に求められる正確性の高さを感じました。特にWBSは全体の作業やその進捗を一括で確認できるため、大変勉強になりました。

・私が今回特に成長したことは電話対応です。私は今まで電話をほとんど使ったことがないので最初は緊張しましたが、回数を重ねるうちに自然に話せるようになりました。最初の挨拶や名乗り、取り次ぐために要件を聞くなどできるようになったことが多かったです。

○今後の展開、今後の学び

・実習期間が19日間と長く、職場以外での社会人としての雰囲気がありました。特に学生気分で生活していると睡眠不足などで仕事に集中できないため、生活習慣が改善されました。就職してから急に生活習慣を治すことは難しいと思うので、是非続けていきたいです。

・今回の小金井市が一般の企業と打ち合わせしている様子を見させてもらいました。とても貴重な体験だったと思います。私は情報系の企業に就職したいので、今後の役に立たせたいです。

○まとめ

・今回のインターンシップを通し、働くことのイメージがより具体化しました。また学校で学んでいること以外にも社会で働くために必要になると思うので、就職後も学ぶことはあるのだろうと感じました。この体験を忘れずに将来に活かしていきたいです。

○担当教員コメント

・情報化が進んでいく今日、今後急激に進展していくことが予想されます。このような中、市役所の業務を円滑に遂行していくためには、情報収集能力・情報処理能力・情報活用能力は極めて重要になります。今持っているそれらの能力を市役所の実際の業務において実践できたことは、大変有益だったと思います。また、ハードの場面のみならず、ソフトの面（対面で人と接する、電話で会話すること、職員同士の対面での打合せ等々）も様々な体験ができて、とてもよい経験となりました。この学習の成果を今後の学内外での学修に生かしていきたい。

○実習先コメント

・縁を大切にこれからも頑張ってください。

・学生のうちから19日間も遅刻せずに来ることはすごいので続けていってください。